

1. 略歴

| | |
|----------|--|
| 1986年3月 | 東京大学文学部宗教学宗教史学専門課程 卒業 |
| 1986年4月 | 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻修士課程 入学 |
| 1988年3月 | 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻修士課程 修了 |
| 1988年4月 | 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻博士課程 進学 |
| 1991年9月 | シカゴ大学大学院ディヴィニティ・スクール宗教史専攻留学 (至1994年6月) |
| 1995年12月 | 東京大学大学院人文科学研究科宗教学宗教史学専攻博士課程単位取得退学 |
| 1996年1月 | 日本学術振興会特別研究員 (至1998年12月) |
| 2001年4月 | 大正大学文学部国際文化学科助教授 |
| 2006年4月 | 大正大学文学部表現文化学科教授 |
| 2010年4月 | 大正大学文学部人文学科教授 |
| 2011年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻宗教学宗教史学専門分野准教授 |
| 2017年4月 | 同教授 |

2. 主な研究活動

a 専門分野

宗教学 (理論研究・比較研究)、宗教と教育の関係、アメリカの宗教

宗教学の基礎でありながら、20世紀後半以降、方法として成立し難くなった「比較」に注目し、その観点から理論研究を行うとともに、ケーススタディでは宗教と教育の関係、世界宗教史記述の問題を対象としている。

b 研究課題

宗教比較の方法、宗教史の記述について、学界ならびに一般社会に見られる問題とその背景・原因を洗い出し、具体的対案を提示することを課題とする。個々の課題設定は以下の通りである。

(1) 比較理論の検討として、①欧米宗教学の変遷、②宗教分類概念の問題、③宗教に対する代替概念の問題をとりあげる。

①「比較宗教学 comparative religion」から出発した欧米の宗教学とその基礎前提が、その後通時的・実証的研究を重視することによってどのように変化したかを調べる。人文的宗教学と社会科学的宗教学の制度的位置関係についても、その歴史的変遷過程を明らかにする。

②「世界宗教」「民族宗教」の対概念をはじめ、宗教学で伝統的に用いられてきた宗教分類概念の妥当性を、昨今の批判理論に照らして検討する。

③2000年代以降の宗教現象を分析するために、ポスト・セキュラー論・概念がしばしば用いられるようになったが、それは日本の現状をとらえるのにどこまで有効かを検討する。

(2) 近現代社会の公教育において宗教がどう扱われてきたかに関する歴史的研究を行う。

ある国の公教育では宗教が排除される、他の国では宗教が取り込まれるという現象を、単に「宗教教育の有無」や「政教分離の有無」として見るのではなく、排除・吸収どちらの場合でもその前提として公権力により「宗教」が定義されているということに注目し、各国の教育制度と法令・教科書の中にその表れを探る。一般概念としての「宗教」のみならず、キリスト教、仏教といった各宗教に関する記述と、教育方法・思想や当該国の宗教・社会情勢の関係を調べる。

(3) (2)の研究成果を踏まえ、国内の公教育における宗教の描き方・教え方に関する問題点を指摘し、改善のための具体的方策を示す。対象は中等教育から高等教育、社会人教育を含む。

c 概要と自己評価

上記の(1)(2)(3)の課題にはほぼ同時進行で取り組み、全てに関して書籍ないし論文によりまとめた成果を発表した (d 参照)。(1)の①②については国際ジャーナルに2本の英語論文を寄稿し、国内・海外で研究発表を行った。また、20世紀の比較宗教研究の代名詞であった、宗教現象学の受容と変容について10カ国の研究者の協力を得て調査を進めた。さらに、国際哲学・人文学会議 (CIPSH) の Global History of the Humankind プロジェクト委員会に加わり、学際的な視野から世界宗教史記述を再検討するためのプラットフォームづくりに取り組んだ。③についてはライプチヒ大学をハブとする Multiple Secularities プロジェクトのワークショップに参加し、その成果として国際ジャーナルに英語論文を寄稿した。また、21世紀の宗教情勢を俯瞰するシリーズ (全4巻) の編集に携わり、その第3巻を編集・執筆した。(2)

の宗教と公教育のテーマについては国際学会での口頭発表の他、イギリスとアジア諸国の状況についてモノグラフを2本、論文集と国際ジャーナルに寄稿した。(3)については上述の編著をまとめたほか、国際学会で口頭発表を行った。

d 主要業績

(1) 著書

編著、藤原聖子、『世俗化後のグローバル宗教事情（いま宗教に向きあう3）』、岩波書店、2018.11

(2) 論文

Satoko Fujiwara, "Buddhism in RE Textbooks in England: Before Shap and After the Call for Community Cohesion," *Religion & Education*, 46/2, pp.234-251, 2019 (published online 2018.6)

藤原聖子、「公共宗教論を規定していたもの—「法律—権利問題化」と「経済—市場原理化」に翻弄される宗教と宗教言説—」、『思想』、no.1139、2019.3

Satoko Fujiwara, "Introduction: What Are the Issues in the 2010s?: An Overview of the Current Study of Religions in Japan," *Numen*, 66/2-3, pp.107-113, 2019.4

Satoko Fujiwara, "The current Conflict of the Faculties and the future of the study of religion/s," *Religion*, 50/1, pp.53-59, 2019.10

Satoko Fujiwara, "How Religious Diversity Is Represented and Taught in Asian School Textbooks," in *Religious Diversity in Asia*, ed. by Jom Borup, Marianne Qvortrup Fibiger, and Lene Kuhle, Leiden: Brill, pp.193-220, 2019.10

Satoko Fujiwara, "Practicing Belonging?: Non-religiousness in Twenty-First Century Japan," *Journal of Religion in Japan*, 8/1-3, pp.123-150, 2019.12

(3) 学会発表

国際、Satoko Fujiwara, "'Religious Secularities' in Recent Japanese Youth Culture," Workshop on Secularities in Japan, U of Leipzig, Germany, 2018.7.19

国際、Satoko Fujiwara, "Between the North and the South: The History of the Study of African Religions in Japan," 8th Conference of the African Association for the Study of Religions, Lusaka, Zambia, 2018.8.2

国内、藤原聖子、「宗教学会の状況—他分野学会と比較して—」、日本宗教学会、京都 大谷大学、2018.9.9

国内、Satoko Fujiwara, "Comments and Feedbacks," U-PAR 後援シンポジウム Secular Religiosity and Religious Secularity: Rethinking the Asian Agency in the Shaping of Modernity, U of Tokyo, 2018.3.9

国際、Satoko Fujiwara, "How Religious Diversity Is Represented and Taught in Asian School Textbooks," 8th Conference of the South and Southeast Asian Association for the Study of Religions, Dhaka, Bangladesh, 2019.6.13

国内、藤原聖子、「「世界宗教」と宗教学」、東京カレッジシンポジウム、東京大学、2019.7.10

国際、Satoko Fujiwara, "The Problem of Another World Religions Paradigm: Only in Japan, or?," 33. Jahrestagung der Deutsche Vereinigung für Religionswissenschaft, Hannover, Germany, 2019.9.4

国内、Satoko Fujiwara, participation in the wrap-up session/chair of German-Japanese Joint Symposium "Cultures in Translation: World History – World Literature – World Society: Japan, Germany and the World in a Transcultural Comparison" co-hosted by German Research Foundation (Deutsche Forschungsgemeinschaft, DFG) and Section I, Humanities and Social Sciences, Science Council of Japan (SCJ). 東京大学、2019.10.10-11

国際、Satoko Fujiwara, "Humanities Futures 2: Diversity & Equity," International Humanities Summit, hosted by Australian Academy of the Humanities, Brisbane, Australia, 2019.11.12

(4) 会議主催、チェア他

国際、IAHR Extended Executive Committee Meeting (host & chair), Delphi, Greece, 2019.9.11-17

国内、F・W・グラーフ教授特別講演会（司会）、東京大学、2019.10.14

国際、"Making the Most of International Collaboration: 2020 IAHR Otago and Beyond" (cochair), American Academy of Religion, San Diego, USA, 2019.11.2

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

セミナー、国際学生会議、「Thinking Critically of "Religious Violence"」、2018.8

セミナー、かわさき市民アカデミー、「AIは天国・地獄を信じるか?」、2018.10

(2) 学会

国内、日本宗教学会、常務理事、2019.9～

日本宗教研究諸学会連合、幹事、2014.12～

国際、 International Association for the History of Religions, Publications Officer, 2015.8～2020.8, Acting Secretary General、
2017.7～2020.8

国際、 American Academy of Religion, steering committee member of the program unit, Religion and Public Schools: International
Perspective Group、 2015.11～

国際、 American Academy of Religion, International Connections Committee member, 2017.11～

学術誌編集委員

British Journal of Religious Education (2006～)

Numen (2010～)

Religion and Education (2011～)

Journal of Religion in Japan (2012～)

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

日本学術会議、第一部副部長、2017.10

サイエンスアゴラ (科学技術振興機構)、審査委員、2017.4～2019.3

民間企業、一般財団法人公正研究推進協会、教材査読委員、2019.3～